

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	老朽化化学兵器の廃棄処理に必要な経費		<b>担当部局</b>	港湾局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H17～		<b>担当課室</b>	計画課		松原 裕		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	20 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	苅田港においては、旧日本軍が投棄したと思われる致死性の毒ガスを含む老朽化化学兵器が発見されており、港湾活動や地域活動の安全性が脅かされている状況である。苅田港及び地域の安全を確保するため、老朽化化学兵器の探査及び処理業務等を行う。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	内閣官房の調整により、平成17年度から苅田港における老朽化化学兵器の無害化処理を国土交通省によって実施している。苅田港において4,403発の化学兵器が海洋投棄されたという文献記録がある一方、平成23年度までに発見・処理されたのは計2,953発(平成17年度以前の防衛庁実施分を含む)にとどまっている。港内の安全を確保するため、防波堤沖や航路沖地域における老朽化化学兵器の探査や処理業務等を行う。 [無害化処理の流れ] 1.磁気探査、2.現し作業、3.揚収、4.陸揚げ・輸送、5.検査・識別、6.爆破処理							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	6,675	0	1,127	1127		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	-631	3,473	0	0		
	執行額	6,044	3,473	1,127	0			
	執行率(%)	6,012	3,465	1125				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (24年度)
	成果実績							
	達成度							
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	事業実施港数		活動実績	港	1	0	1	1
<b>単位当たりコスト</b>	1,127(百万円/港)		算出根拠	当初予算/事業実施港数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業は地域住民や港湾利用者の安全・安心に関わる事業であり、優先度が高い。</li> <li>・旧軍由来の老朽化化学兵器の廃棄処理事業であることから、国が実施すべき事業である。</li> </ul>
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種発注においては、真にやむを得ない場合を除き一般競争入札により受注者を選定しており、競争性を確保している。</li> <li>・現し作業において、安全を確保した上で、化学弾の発見状況に応じて潜水防護服を変更し、作業効率の向上を図り処理業務のコスト縮減に努めている。</li> <li>・老朽化化学兵器の探査・無害化処理に必要な経費について計上している。</li> </ul>
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	—	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苅田港内にて発見された化学弾について、本事業にて無害化処理を実施している。</li> </ul>
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名 老朽化化学兵器廃棄処理事業・環境省	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>地方整備局においては、処理業務の発注や現場監督業務を行い、作業の進捗状況や予算の執行状況を常に把握している。本省においても、地方整備局からの報告を以て事業の進捗状況を把握しており、適正に事業が遂行されているといえる。</p> <p>また、苅田港の安全に対する地元住民の要望を踏まえ、磁気探査や現し作業の結果に応じて、施工検討委員会において探査範囲等について検討している。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	388	平成23年行政事業レビュー	0353

※平成23年度実績を記入

国土交通省  
1,125百万円

老朽化化学弾の無害化処理業務を行わせる。



A.九州地方整備局  
1,125百万円

老朽化化学弾の無害化処理業務を実施する。



【一般競争・簡易公募プロポーザル少額随契】

B.民間企業等(11団体)  
1,125百万円

事業設計、探査・現し作業、監督補助業務等を実施する。

老朽化化学兵器廃棄処理業務旅費  
0百万円

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.九州地方整備局			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	老朽化学兵器の廃棄処理に必要な経費	1,125			
計		1,125	計		0
B.(株)神戸製鋼所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業費	芦田港老朽化学兵器無害化処理業務	653			
計		653	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

## 支出先上位10者リスト

### A. 地方整備局

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	九州地方整備局		1125	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

### B. 民間企業等(11団体)

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)神戸製鋼所	苅田港老朽化化学兵器無害化処理業務	653	1	99.8
2	あおみ建設(株)	苅田港老朽化化学兵器無害化処理施設仮設工事	440	7	86.8
3	(株)ティーネットジャパン	苅田港(化学弾処理)監督等補助業務	15	2	77.5
4	(財)港湾空港建設技術サービスセンター	苅田港港湾整備施工検討業務	13	1	99.2
5	五洋建設(株)	苅田港(本港地区)航路(-13m)浚渫[暫定-12m]工事	2	8	87.1
6	(財)経済調査会	資材等価格調査	1	1	84.4
7	日本ビジネスコンピューター(株)	港湾情報処理システム保守管理	0	5	100
8	(財)豊前海区海洋環境保全協議会	海上警備業務等	0	-	-
9	西日本空輸(株)	平成23年度航空機維持・運航業務(はるかぜ号)	0	1	-
10	(株)フジモト	トナーカートリッジ1式	0	2	100